



ちゅうせい ていえんいこう たまいし 中世の庭園遺構と玉石

(一宮城出土遺物、一宮町教育委員会所蔵)

しんぶかん じゅうけんどうじょう た しroyama せんごくじだい いちのみやじょう しろ
振武館（柔剣道場）の建つ城山には戦国時代、一宮城という城がありました。

しろ ひめじじょう てんしゅかく せんごくじだい
城といっても姫路城のように天守閣があったわけではありませんが、戦国時代はこ
しろ たたか く ひろ
の城をめぐる戦いが繰り広げられました。

しんぶかんけんせつ しょうわ ねん しroyama いちぶ はくつちょうき おこな
振武館建設に伴い、昭和58年(1983)に城山の一部で発掘調査が行われました。

ど き てっぽうだまとうおお こうこしりょう はっけん へいせい ねん いっかつ
土器や鉄砲玉等多くの考古資料が発見されました。これらは平成15年(2003)に一括
で「一宮城出土遺物」として町の指定文化財に指定されています。

はくつちょうき いちのみやじょう いけ
発掘調査によって、一宮城には池のある



ていえん そせきたてもの
庭園と礎石建物があったことがわかりました。

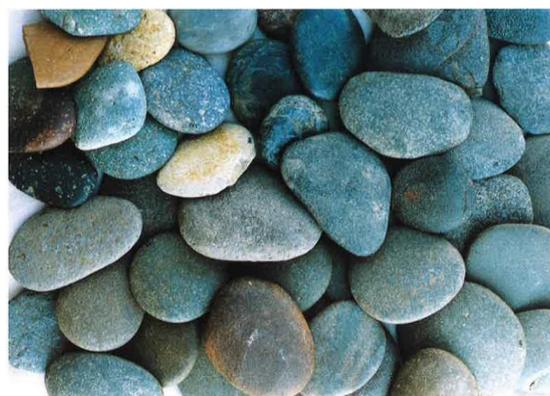
せんごくじだい ていえんいこう はっけん
戦国時代の城跡から庭園遺構が発見されること

めずら ちばけんない じれい
は珍しく、千葉県内でも事例はほとんどありま
せん。

たてもの なか とくしゅ くうかん たとえ じょうしゅ す
建物の中の特異な空間、例えば城主の住んで

へや らいきやく むか へや
いた部屋や来客を迎える部屋のようなものが

ていえん た そうぞう
庭園にそって建っていたことが想像できます。



しゃしん うえ はくつちょうきじ たてもの そせき あと ていえんいこう
写真：(上) 発掘調査時の建物（礎石）跡と庭園遺構
した たまいし
(下) 玉石

